

Q1 6月13日の消費者行政推進 会議で「消費者行政の一元化」 が取りまとめられました。その 背景は何でしょうか。

岸田 ここ数年、消費者をめぐるさまざま
な問題、例えばマンシヨンの耐震偽装、
食品の不当表示事件、振り込め詐欺をは
じめとする各種の悪徳商法、さらには中
国製の冷凍餃子による薬物中毒事件など、
国民生活の安全・安心を揺るがすような
問題が次々に生じています。

これらの問題を通じて、消費者被害に
あった時の相談窓口が分かりにくいこと、
消費者等からの苦情や相談などが集約さ
れていないこと、行政側の縦割りの弊害
があること、事案発生後に迅速に対応で
きていないこと、そもそも悪質業者の取
り締まりなどの権限がないこと……等、
行政のあり方に対してさまざまな問題点
が指摘されてきました。

その原因は、日本の行政の仕組みがま
ず生産者利益を中心とし、消費者の保護
は生産者への規制を通じて付随的に図っ
てきたためと考えられます。しかし今日
では、何よりも日々の生活が豊かで安全・
安心に暮らせることが重視されています。
こうした国民の意識の変化に応じて、行
政も変わらなければなりません。それが
消費者行政推進会議が取りまとめた「消
費者行政の一元化」なのです。実は、こ
の会議はこれまで8回開催されましたが、

interview to a Cabinet minister

大臣に直撃 Q&A

今月のQuestion: 消費者庁の設立へ

全国の消費生活センターをネットワークで結んで、
国民の声をしっかり受け止めて迅速に対応する
消費者行政の司令塔が、来年度、動き出します。



interview to a Cabinet minister

「消費者、生活者を大切にする 行政に大転換します」

岸田文雄

消費者行政推進担当大臣
内閣府特命担当大臣(沖縄及び北
方対策・科学技術政策・国民生活・
規制改革)
宇宙開発担当大臣

福田総理は「皆勤賞」であり、この問題
への並々ならぬ総理の決意がうかがえま
したね。

Q2 消費者行政一元化のポイン トは何ですか。

岸田 何よりも消費者行政は国民に分か
りやすいものでなければなりません。そ
こでまず、中央に消費者行政の司令塔と
なる、強い権限を持って専門性を備えた
新しい組織、消費者庁(仮称)をつくり
ます。

そして地方では国民の声をしっかりと
受け止める窓口機能を充実させて、そこ
から情報が一元化されるネットワークを
整備します。具体的には、現在の消費生
活センター等を窓口とし、共通の電話番
号を設置し、緊急の場合は代表的な窓口
が24時間365日対応できるような体制
をつくります。

この中央と地方の機能を組み合わせる
ことによって、国民からは分かりやすく
てアクセスしやすい、メリットが十分に
感じられる体制にしていきます。

Q3 新たな組織をつくるとなる と、予算や人員が増えるこ とになりませんか。

岸田 これまで消費者行政は担当する関

係府省庁がそれぞれ努力を重ねてきました。その努力は評価されるべきです。しかし、それゆえに縦割り行政のすき間に落ちていた事案なども生じたわけですから、その組織を一元化するのが今回の大きな改革です。所管する法律の移管に伴い、機構、定員、予算なども関係府省庁から移し替えることになりますから、予算や人員が膨大に増えるといったことにはなりません。

Q4 来年度から消費者庁がスタートすると、国民にとって何がメリットになりますか。

岸田 とにかく国民にとっては分かりやすく、窓口がはつきりします。しかも消費者からの情報を一元的に集約し、迅速に対応します。また緊急事態には消費者行政の司令塔となって、政府一体の対応を指揮することになります。例えば「表示」などでは、これまで複数の法律や省庁にまたがり、バラバラだったのを体系化することで消費者に分かりやすくしていきます。そういった一元化は、生産者にとってもプラスになるはずです。

食品一つをとっても、これだけ多様な種類が大量に輸入される時代になっています。今後、行政も安全・安心を守るために最善を尽くしますが、まず事業者は生産・流通の各段階で責任をもって頑張ってもらいたいですね。この厳しい日本の



「消費者を主役とする政府の舵取り役」としての消費者庁の創設

(平成 21 年度)

消費者庁の充たすべき 6 原則

- 消費者に便利で分かりやすいこと
- メリットが十分実感できること
- 迅速な対応
- 専門性の確保
- 透明性の確保
- 効率性の確保

消費生活センターを一元的な窓口として、全国ネットワークを構築する

(共通の電話番号 緊急事案に 24 時間、365 日対応できる体制へ)

- ① 新宿消費生活センターを視察する岸田大臣。
- ② 窓口では、消費生活全般に関する問い合わせなどに専門の相談員が当たります。(写真提供：時事)

政府インターネットテレビ「ほんね」

岸田大臣の本音が分かる番組がご覧いただけます
「大臣のほんね」は 12ch です

<http://nettv.gov-online.go.jp/>



消費者に評価されることになれば、事業者の国際競争力も高まることになるはずです。と同時に、国民の皆さんも、賢い消費者となつて行動していただき、消費者、事業者、そして行政が、協力、共存していくことが大切だと思います。